

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8年 3月 30日

団体所在地 東京都千代田区神田神保町 2-20

SP 神保町ビル第2ビル4階

団体の名称 株式会社 小学館アカデミー

職・氏名 代表取締役 喜田 力

(施設名 三次市愛光保育所)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・コンポストの土入れ
- ・畑の増築
- ・夏野菜を畑とプランターに植える
- ・桜の木の実で色水遊び
- ・尾関山で春探し

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・夏野菜の収穫
- ・築山設置(年長タイヤに色塗り)
- ・コンポストの堆肥を畑に入れる

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・野菜の収穫
- ・尾関山へ秋探し
- ・自然物での制作活動
- ・コンポストの循環
- ・畑の草むしり

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・尾関山へ冬探し
- ・虫探し
- ・冬野菜を植える
- ・コンポスト受け渡し

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

【愛光農園活動】

毎年4月は尾関山のふもとでヨモギを収穫する年長組。ヨモギを使って「ヨモギ団子」を作っている。今年は「あいこう のうえん」と名が付いた畑ができた。土は地域の方の協力でアスパラ農家さんの土をいただいた。夏野菜を「なす・とまと・とうもろこし・かぼちゃ・はつかだいこん・ズッキーニ」など、たくさんの野菜を植えた。毎日の水やりと声かけで大きくなる野菜たち。しかし一方では、虫や病気になる野菜ができた。図鑑で調べたり、調べても分からないこともあったりと「なんで虫がくるん？毎日水やりしたのに」と疑問に思う姿も見られた。また、生原商店の生原さんと一緒に追肥としてコンポストの堆肥を蒔いた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

【築山】

7月に総合遊具の劣化により、撤去。8月より築山づくりが始まる。

9月に築山が完成した。子どもたちと“安全な遊び方”とは？を3歳児から5歳児まで話し合った。また、何をして遊びたいかなど話し合ったいと「タイヤに色を塗りたい」と年長の子どもの声が上がった。10月ごろから、子どもたちの姿を見守りながら、子どもたちが自ら考えて遊ぶ姿や、登れない場所を何度も挑戦している姿が見られた。「のぼりたい！」と大人の力を借りる様子も見られたが、「一緒にのぼろう！」と誘ってくれる友だちがいた。友だちとの関わりや登れた時の達成感や満足いくまで遊ぶ様子が見られた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

【サツマイモの茎でリースづくり】

年長組が春に植えたサツマイモが収穫時期を迎え、葉っぱや茎がしっかりと成長していたため、引っ張ったり葉っぱをちぎったりして遊ぶ姿が見られた。サツマイモは参観日でクッキングをする予定だったが、茎を使って何かできないかと、案を出すとクリスマスリースを作りたいと意見が出た。好きな大きさに丸にし、何本も何本も使って巻いて固定する。なかなか丸にならない子もいたが、友だちが手伝う姿も見られた。食育だけでなく、色々な発見や発展があり、飾りつけも楽しみにしている様子だった。飾るものも、近くの山から拾ってきた木の実や葉っぱを使用してクリスマスリースを完成させた。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

【コンポスト引継ぎ式】

昨年の3月に広島県の間伐材を使ったコンポストを導入し、尾関山で拾った草花や給食で出た野菜を乾燥させて、入れていった。微生物の働きで発酵、分解されている様子が不思議に思う年長の姿が見られた。夏野菜が豊富に採れた時には、夏野菜の皮やトウモロコシの芯を入れて様子を見る姿が見られた。近所の方からいただいたクワガタが亡くなった時には、「土に帰らせてあげた方がいいんじゃない？」と子どもたちからの意見が出たため、温かいコンポストの中にかえした。卒園式が終わり、「次の年長の子どもたちにコンポストを守ってもらいたい」と話があり「コンポスト引継ぎ式」を行った。やり方など丁寧に伝える姿や「しっかり守ってね」と託す様子はとてもたくましく見えた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

- ・ コンポストへの関心を深めるために研修実施（年3回）
- ・ ドキュメンテーションを作成、カンファレンスを毎月実施。
- ・ 自然と触れ合う子どもたちの様子を職員全員で振り返りながら、自然を通して学びを得る環境、援助について話し合い資質向上に努めている

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- ・ 地域の方、保護者から土や種、虫などを提供していただいている。

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

- ・ 参観日などを活用し、保育所で育てた野菜を使ってクッキングをしている。

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	三次市愛光保育所ブログ https://hoiku.shoppro.co.jp/hoiku/news/aikou/
-------	--